

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	◎	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・半年間続いていた近所の道路工事が終了し、店の前の工事もうまく一段落したため、来客数が増加している。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	単価の動き	・商品の値上がりも一因で、客単価は徐々に上がっているが買い控えは余り感じない。
	○	百貨店（広報担当）	お客様の様子	・9月と比べて大きな買物袋を持って買い回りする客を見掛けるなど、外出先の選択肢として買物のモチベーションが高いように感じる。
	○	百貨店（広報担当）	来客数の動き	・前年よりも来客数が増加している。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・前年比で見ても明らかに売上が回復している。また、歳末時期の客の買上点数も増加傾向であり、消費が回復しているといえる。週末中心に家族連れや団体客が多く、外出や行楽といった行動が見える。一部商品の値下げ傾向があり、これも客の消費意欲の向上につながっていると考える。
	○	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・商品の値上がりで、ついで買いや衝動買いは減ってきているものの、販売数量は前年を上回っており、来客数、客単価のいずれも堅調である。
	○	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・寒いため、季節商材の販売量が増加している。また、電気通信事業法の改正で、12月27日から携帯電話に対する割引規制が変更となるため、携帯電話の販売量も増加している。
	○	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は変わらないが、客単価が上がっている。
	○	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・景気回復がみられ、高額な宿泊先を選択する客も多くなっている。
	○	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・国内個人旅行は引き続き堅調で、年末需要も確実に増加している。しかし、海外個人旅行並びに団体旅行は引き続き厳しい状況で回復が遅れている。
	○	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染対策緩和により、景気はやや良くなっている。
	○	美容室（経営者）	お客様の様子	・どこに行っても人が多く、マスクをしている人の方が少なくなっており、買物客もたくさんいる。
	□	商店街（理事）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、客の購買意欲が高まると思っていたが、依然として客の財布のひもは固い。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・小売業は今後厳しくなる。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症が終息しかけているが、消費は元に戻っていない。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年同期と比べて、来客数が減っている。新型コロナウイルス感染症明けで消費が旅行などの費用に向かっているのかと推測する。
	□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	単価の動き	・クリスマス前はある程度動きがあり、売上も少しあったが、これから正月にかけては、人出が商店街に向かわない。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症による影響は少なくなったと思うが、来客数は多くない。
	□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・食料品以外は前年の売上を大幅に上回っているが、売れているのは価格の下がった商品が多い。
	□	百貨店（営業担当）	単価の動き	・原材料価格の高騰などから、全体的に商品価格が上がっており、販売単価や客単価が上昇傾向にはあるが、一方で販売点数や来客数は減少傾向にある。現状は販売点数や来客数の減少を単価上昇でカバーし、前年並みの売上を何とか維持している状態である。
□	百貨店（営業担当）	単価の動き	・来客数は3か月前と比べ増えているものの、気温が高いということもあり単価の高い重衣料品の動きが鈍い。	
□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円のじゅうたんやジュエリーなどが売れた。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・人流はかなり活性化しているが、売上が伴っていない。直接景気とは関係ないかもしれないが、お歳暮の状況が非常に悪かった。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比98%で推移している。クリスマス商戦期間中の来客数は前年比103%と好調に推移したが、それ以外の平日の来客数は前年割れである。週末や行催事の来客数は前年を超えて多くなっているが、平日の来客数は伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年をやや下回った状態で推移しているが、売上は前年をやや上回っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・売上や販売量が横ばいで推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（副地域ブロック長）	単価の動き	・前月に続いて客単価や購入単価の下落が続いている。ぜいたく品や生活必需品は、客が値段を比較して他業態で購入する機会が増えてきているようだ。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（支店長）	販売量の動き	・物価上昇に客の給与上昇が追いついていないため、販売数量が減少している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ボーナスが上がったという声がちらほら聞こえている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・仕入価格が上昇し、半襟や足袋などの価格も高くなっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	お客様の様子	・ここ2～3か月、来客数が2割以上減少している。客は必要な物しか購入しないし、客単価も低下している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・家電販売は前年並みで推移しているが、店によっては大幅に前年割れしている店もある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・12月の販売量は前年比95%となっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・販売可能な商品が少なく、見込み客を獲得しにくい状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・良くもなく、悪くもなく、例年どおりの売上となっている。ただし、金額ベースなので、実質数量は減っている。物価高にごまかされて前年度と同じといっても喜べない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・今以上は望めないと考える。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔土産物〕（経営者）	来客数の動き	・観光バスで訪れる来客数が幾らか減ったが、地元自治体が発行するプレミアム付クーポン券を利用する来客数が増え、プラスマイナスゼロとなっている。
<input type="checkbox"/>	その他小売 〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・年末が近づき、客の買物機会も増えてきたようだが、前年と比べても売上が伸びたようではなく、単なる年末需要の増加で景気が上向いているようには感じない。大手企業のボーナスが増加したとの報道はあるものの、商品の値上げなどもあり、客が財布のひもを緩めるには至っていないように感じる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・大きな追加の話題がないが、相変わらず好調である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	それ以外	・年末といえども大人数の忘年会が少ないようで大型店は良くない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今までよりも来客数が3～4割くらい減少している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・年末年始の予約があるため、景気が上昇しているようであるが、実際は例年どおりだと思う。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・3か月前も景気は良かったが、現在も3か月前とほぼ一緒の状況である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（宿泊担当）	販売量の動き	・全国旅行支援があった前年と比べ、稼働している客室数は大幅に減少している。ただし、クリスマスや年末などの繁忙期においては、前年を上回る水準となっている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・12月は例年オフシーズンとなるが、県独自の全国旅行支援が12月20日まで実施され、例年以上に堅調に推移している。

□	タクシー運転手	販売量の動き	・年末の売上が思ったほど良くなく、前年をやや上回るくらいである。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・好景気の状態が維持されているが更に良くなるとは思えない。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・繁忙期に入り、朝夕の乗車は多い。夜は金曜日や土曜日は多いが、それ以外の乗車は余り良くない。
□	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・年末の区切りということもあり、前期と比べれば僅かながらキャンペーン等での手応えが上向いた感触があった。総じてアフターコロナということだと思う。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・固定電話等サブスクリプション系の契約解約が特に高齢者で顕著となっており、物価高騰に対して収入増加の手立てが少ない高齢者の領域で消費が停滞傾向にあると見て取れる。
□	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・来場者数や予約状況に変わりはない。今年の冬は暖冬と予想されているため直前での予約を期待している。
□	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・1日平均の売上がほぼ横ばいである。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・物価が上昇しているため、客の節約傾向が続いており、所得が大幅に上昇している人もいないため、景気に変化はない。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・身の回りの生活物価の上昇が続く、建築費の高騰が重なっていることから、新築住宅を諦め、マンションの購入へシフトしている顧客が増加している。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数は少し改善しているが、客の決断が鈍い。併せて資金計画に余裕が余らないため購入に慎重である。
□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・政府の住宅補助政策や住宅ローン金利の動向を見て、待ちの状態に入っている感じの客が多い。
▲	商店街（代表者）	単価の動き	・良い商品をより安く手に入れたいという客の意識が浸透していて、購入に結び付いていない。
▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・コロナ禍が終わり、前年より客の動きは出てきているが、売上は思うようには上がっていない。物価高が影響して、客の財布のひもが固いようである。
▲	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・プレクリアランスセールを開催したが、例年と比べ厳しい状況である。値下げできる商品の数が減少しているため、プロパーで販売しないと数字は前年を上回らない。
▲	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・11～12月はお歳暮期であるが、特に法人からの注文が軒並み減少しており、厳しい景況感となっている。
▲	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・値上げによる1品単価の上昇により、売上は前年を上回っているが、来客数及び1人当たり買上点数の前年割れが続いている。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・暖冬と物価高が要因で景気はやや悪くなっている。特に元々単価が高い重衣料が購買につながっていない。来客数も前年比93%と伸びてきていない。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・物価高騰による値上げの影響が少しずつ出てきている。来店時の客の購入点数が減り、販売金額も減少している。
▲	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・久しぶりに忘年会など人々が外出するようになってきたが、来客数は微減となっている。
▲	乗用車販売店（業務担当）	お客様の様子	・車の生産停止などの問題で客の動きにも変化が出てきている。
▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・前年を大幅に下回る危機的状況である。
▲	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・景気はここ数か月変化がなく、市場の動きが悪く、低迷している。本来ならある12月の駆け込み需要もなく、売上が上がらず、苦戦している。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・3か月前より多少は良いが、売上は前年同月比80%くらいで悪い。

	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・金曜日以外の平日と土曜日の来客数は前年を上回っているが、金曜日と日曜日の来客数は前年の80%台まで落ち込んでおり、特に夜9時以降の売上は前年の50%台まで減少している。金曜日は公務員や上場企業の多人数の宴会利用が大幅に減少し、金額の設定のある食べ放題や飲み放題コースが極端に増加している。宴会全体は前年並みであるが、一般客の利用は少なくなっている。
	▲	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・11月までは来客数も順調に増えていたが、12月に入ってから伸び悩んでいる。前年比増加率は11月と比べると11ポイント低下している。
	▲	観光型ホテル (副支配人)	お客様の様子	・秋の行楽シーズンは宿泊や宴会を利用する客が多く、部屋が取れない状況が続いたが、12月は年末を除き予約件数が減少している。
	▲	通信会社(広報 担当)	来客数の動き	・購買行動が活性化していない。
	▲	放送通信サー ビス(総務経 理担当)	お客様の様子	・利用料延滞の総額が徐々に増えており、1年前と比べても上昇傾向にある。
	▲	住宅販売会社 (営業所長)	お客様の様子	・情報量や集客数の減少が顕著で、引き合い件数に影響している。
	×	*	*	*
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・地元自動車メーカーが好調であるため、忙しい。
	◎	建設業(総務担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・今後の資材高騰や納期遅延の危機感はあるものの、世間にインフレの共通認識が定着したため、価格転嫁がやりやすくなった。
	○	一般機械器具製 造業(管理担 当)	受注量や販売量 の動き	・自社の販売状況や生産量の回復から判断すると、景気はやや良くなっている。
	○	輸送業	受注価格や販売 価格の動き	・受注が増えている。
	○	輸送業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・年末にかけて受注量が増加している。
	○	通信業(企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・データセンターやICT関連機器の引き合い量や受注量が増加傾向にある。計画的な発注の動きが中心であるが、電気料金の上昇が止まり、価格も落ち着きが出てきたため、客の購買意欲が高まっていると考えられる。
	○	金融業(支店 長)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられて以降、前年比120~130%の推移で売上増加がみられる。一方、仕入原価や人件費の上昇から利益率は微増となっている。
	○	不動産業(総務 担当)	それ以外	・前月と比べ、来客数は約13%増加、成約件数も約16%増加となっている。
	○	広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・受注量や販売量が良い方向に動いている。
	□	農林水産業(従 業員)	受注価格や販売 価格の動き	・特に景気が良くなったような注文もなく、単価も極端に良くなったわけではない。
	□	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・12月は商流が12~13%減少したが、値上げ効果や経費削減で、何とか現状を維持している。
	□	木材木製品製造 業(経理担当)	受注量や販売量 の動き	・為替の影響や金利の上昇など住宅業界にとっては現時点では景気が良くなる要素がみられない。このまましばらく住宅業界としては厳しい状態が続くとみられる。
	□	化学工業(総務 担当)	受注量や販売量 の動き	・原材料の仕入れや取引先への販売量が安定的でないため、先行きに不透明感がある。
	□	鉄鋼業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注動向は回復基調とみているが、動きは極めて鈍いと感じる。
	□	鉄鋼業(総務担 当)	取引先の様子	・取引先の様子をもみても下期に入って大幅な需要回復が見込めない様子である。
	□	非鉄金属製造業 (業務担当)	受注価格や販売 価格の動き	・金属価格が為替の影響もあり高値で推移しているが、エネルギー価格や資材の高騰により収益面では相殺されている。

	□	輸送業（業務推進担当）	取引先の様子	・大きなプラス、マイナス要素がなく、各取引先に目立った動きもないため、状況は大きくは変わらない。
	□	金融業（経済産業調査担当）	それ以外	・生産活動で足踏みが続いているものの、企業業績や観光分野は堅調であり、個人消費も底堅い動きがみられる。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・良い面と悪い面が混在している。人手不足から総務系業務の外注化が進み、業務受託収入は増加している。一方、関連業務である代理店手数料収入は横ばいから減少している。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型注文の谷間ということもあるが、注引量が漸減状態である。
	▲	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が3か月前と比べ、20%減少している。受注残があるため、12月は定時工数分の生産は確保できているが、翌月は生産が落ちる見込みである。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられて以降、顧客が生産調整に入り、受注量が減少している。当面は生産調整が続く見通しである。
	×	—	—	—
雇用 関連 (中国)	◎	—	—	—
	○	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・機械装置製造会社において、これまで年齢制限を設けていたが、上限年齢を撤廃し広く募集を掛け始めた。また、自動機製造会社においても、所在地が辺りな場所にあることから、フルリモートでの勤務を可能とし全国から人を探すことに切り替えた。
	○	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求職者数の動き	・人材紹介において、求職者の登録者数が前月比106%、年始や年度初めでの転職希望者が微増となっている。
	□	人材派遣会社（副支店長）	それ以外	・物価高に賃上げが追い付いていない。
	□	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・企業については、新卒採用が12月現在も採用予定数に達しておらず、会社説明会や面接など個別に対応し採用活動を継続している企業があり、その割合は前年と比較してもやや多いように思う。一方、学生については、内定保有率も高く、早々に就活を終えている割合が高い。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・経済活動や社会生活は通常に戻っているが、物価高騰、消費停滞、人手不足の状況に変化は見受けられない。
	□	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・11月の新規求人受理数は前年比で3.1%増加であるが、有効求人数は前年比1.3%減少している。また、産業別求人では運輸業や卸小売業が増加した一方、建設業や製造業が減少しており、景気の全体的な傾向は判断し難い。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・例年の同時期と比較して、大きな変化がない。
	▲	人材派遣会社（事業部長）	求人数の動き	・例年であれば10月から年度末となる翌年の3月末にかけて発生する季節繁忙に関する求人が入ってきておらず、受注が冷え込んでいる。
	▲	職業安定所（職員）	それ以外	・求人数が前年同期比で15%以上減少していることに加え、大手自動車メーカーの不正問題に関連し、取引企業から休業に関する問合せが複数入っており、3か月前と比較すると景気はより下向きになっているとみられる。
	×	—	—	—